

## 雇用形態と非正社員の状況について

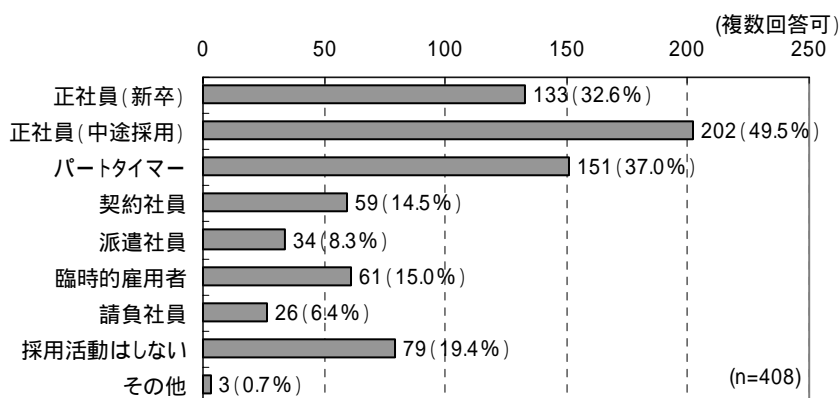
～企業が求める雇用形態のトップは「中途採用の正社員」、  
非正社員雇用理由は「人件費節約」、「景気変動に応じて雇用量を調節」～

### はじめに

近年の経済のグローバル化や企業間競争の激化あるいは少子高齢化による人口構造の変化や生産年齢人口の減少など社会の変化はますます大きくなってきています。それに伴い企業側の採用行動の変化や就業者の意識も変化し、雇用・就業形態の多様化が進んでいます。そこで県内企業における雇用形態と非正社員の活用状況について調査・分析した。

### 企業が求める雇用形態について

「正社員（中途採用）」と回答した企業が最も多く、約半数の49.5%を占めた。次いで多かったのが「パートタイマー」37.0%、「正社員（新卒）」32.6%の順であった。一方で「採用活動はしない」と答えた企業は19.4%であった。中途採用の正社員を求める理由としては、即戦力としての効果を望む傾向があると考えられる。



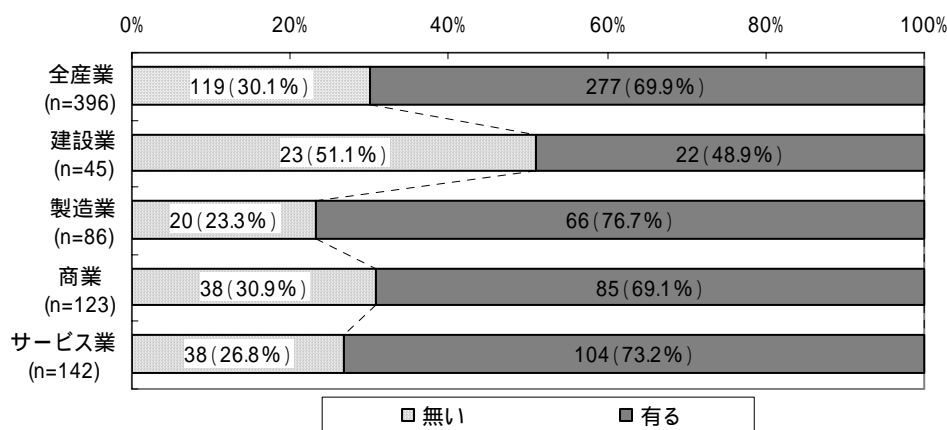
業種別に見ると、製造業、サービス業では過半数の企業が「正社員（中途採用）」を求めており、次いで多かった「パートタイマー」も建設業では8.3%と比較的に少なく、また「採用活動はしない」とした企業は、建設業では31.3%と比較的多かった。

【複数回答可】

	全産業	建設業	製造業	商業	サービス業
正社員(新卒)	32.6%	37.5%	39.8%	27.6%	30.9%
正社員(中途採用)	49.5%	39.6%	55.7%	45.5%	52.3%
パートタイマー	37.0%	8.3%	43.2%	41.5%	38.9%
契約社員	14.5%	4.2%	14.8%	16.3%	16.1%
派遣社員	8.3%	2.1%	14.8%	5.7%	8.7%
臨時的雇用者	15.0%	18.8%	19.3%	7.3%	17.4%
請負社員	6.4%	10.4%	5.7%	4.9%	6.7%
採用活動はしない	19.4%	31.3%	17.0%	22.8%	14.1%
その他	0.7%	2.1%	1.1%	0.0%	0.7%
合計	n=408	n=48	n=88	n=123	n=149

### 非正社員の雇用の有無

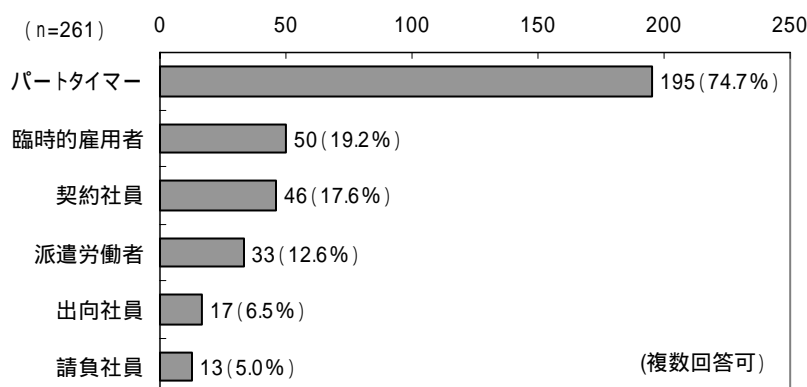
非正社員の雇用が有ると回答した企業は、全産業で約7割を占め、業種別に見ると、製造業、サービス業で比率が高く、建設業では逆に非正社員の雇用が無いと回答した企業が過半数を占めた。



	全産業	建設業	製造業	商業	サービス業
0人	119	23	20	38	38
1-2人	82	13	12	29	28
3-5人	67	5	18	26	18
6-10人	46	4	14	9	19
11人以上	82	0	22	21	39
合計	396	45	86	123	142

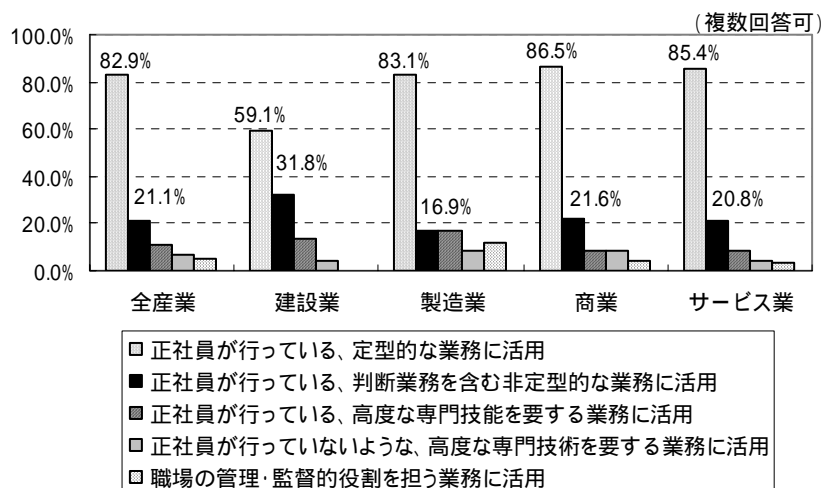
### 非正社員の雇用形態について

非正社員の雇用形態は「パートタイマー」が特に多く74.7%を占めた。



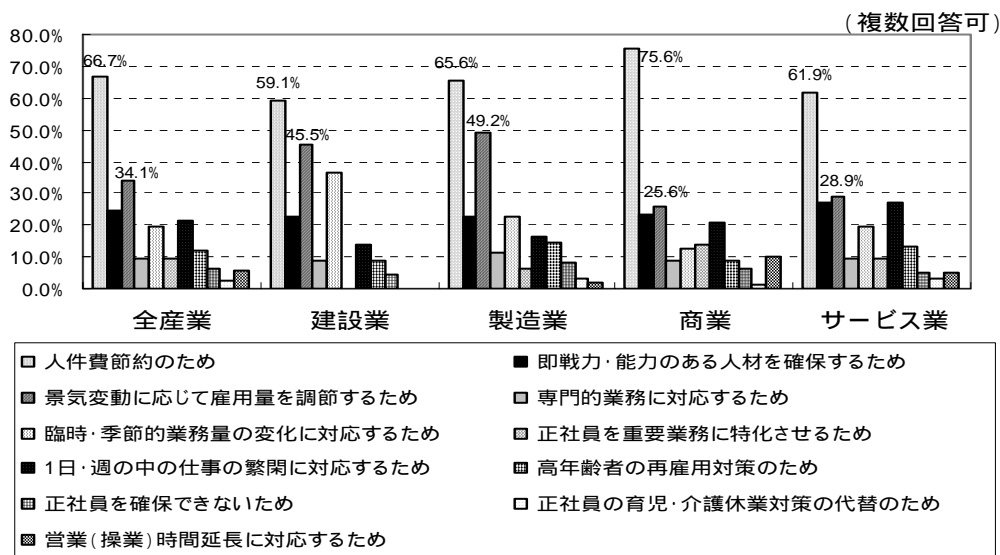
### 非正社員の業務について

全産業では「正社員が行っている、定型的な業務に活用」が82.9%で最も多く、次に多かった回答は「正社員が行っている、判断業務を含む非定型的な業務に活用」の21.1%であった。業種別に見ると、建設業を除いて同じような傾向であった。



### 非正社員を雇用・活用する理由

全産業では「人件費節約のため」が66.7%と最も多く、次いで「景気変動に応じて雇用量を調節するため」、「即戦力・能力のある人材を確保するため」の順であった。業種別にみると、商業では「人件費節約のため」が他業種より多く75.6%を占めた。



### 非正社員の活用上の課題

全産業では、「良質な人材の確保」が58.1%と最も多く、次に「業務処理能力の向上」が33.1%となっている。

【複数回答可】

	全産業	建設業	製造業	商業	サービス業
良質な人材の確保	58.1%	27.3%	52.5%	69.9%	59.6%
正社員との職務分担	25.4%	36.4%	28.8%	19.2%	25.5%
業務処理能力の向上	33.1%	27.3%	39.0%	28.8%	34.0%
正社員との人間関係	15.7%	22.7%	8.5%	15.1%	19.1%
より高度な活用	8.5%	9.1%	8.5%	9.6%	7.4%
モラルの向上	10.9%	4.5%	8.5%	11.0%	13.8%
定着性の向上	10.5%	0.0%	16.9%	15.1%	5.3%
時間管理	25.4%	22.7%	22.0%	30.1%	24.5%
チームワーク力	14.5%	18.2%	20.3%	11.0%	12.8%
合計	n = 248	n=22	n=59	n=73	n=94

### おわりに

企業の非正社員を雇用・活用する理由のトップは「人件費節約」次いで「景気変動に応じて雇用量を調節」であり、景気に対する不透明感が高まる中で、コスト削減と雇用における柔軟性の確保のために、今後も非正社員の雇用の増加が見込まれる。

非正社員の活用上の課題として「良質な人材の確保」や「業務処理能力の向上」のウェイトが高いが、非正社員の仕事の質の向上を図り、生産性を高めていくためには、非正社員も正社員と同等に評価・処遇を充実させることにより、その仕事に対する意欲を喚起し満足度を高めていくことが重要となってくるものと思われる。